



スタートアップガイド

はじめに	- 1
1. ログインアカウントの権限について	- 2
2. プロテクトユニットについて	- 2
2-1.USB フラッシュメモリタイプ	- 2
2-1. USB タイプ	- 3
2-2.パラレル(D-Sub25ピン)タイプ	- 3
3. インストール手順	- 4
3-1.Ver1からグレードアップの方へ	- 4
3-2.Ver.2からグレードアップの方へ	- 4
3-3.WindowsVista へのインストール	- 4
3-4.即利用くんのPC版 Ver.2.5のインストール	- 4
3-5.即利用くんのPC版 Ver.2.5のアンインストール	- 5
4. 主なソフトの流れ	- 6
5. 基本操作説明	- 7
5-1.即利用くんのPC版 Ver.2.5の起動	- 7
5-2.プログラムメニュー	- 7
5-3.各プログラム計算	- 7
6. 座標データファイルの受渡しについて	- 8
6-1.CSV ファイルの読み込み例	- 8
7. アイコン・メニュー解説	- 8
8. 座標データの入力方法について	- 9
9. 計算書について	- 10
10. Excel 出力について	- 10
11. 確認図(図形描画)について	- 11

ヤマヨ測定機株式会社

本 社 〒120-0015 東京都足立区足立 2-23-13

営業部 TEL03(3849)6511 FAX03(3849)6515

大 阪 〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町 3-19 (第3林ビル2号館 7F)

営業所 TEL06(6765)1897 FAX06(6765)1941

名古屋 〒460-0018 名古屋市中区門前町 5-10 (サンメンビル)

営業所 TEL052(323)2321 FAX052(323)2320

URL: <http://www.yamayoko.jp/>

製品の内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Windows、Windows2000、WindowsXp、WindowsVista は Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

- はじめに -

このたびは、『即利用くんのPC版 Ver.2.5』をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
このスタートアップガイドをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

梱包内容 即利用くんのPC版Ver. 2.5 セットアップ用CD 1枚

ユーザー登録FAX用紙	1枚
プロテクトユニット	1個

動作環境 OS	Windows	2000/XP/Vista(64Bit 版を含む)
CPU・メモリ		各OSが推奨する環境以上
ハードディスク		即利用くんのPC版Ver. 2.5本体は、13MB程度 その他データ領域は別途必要
ディスク装置		CD-ROMドライブ(インストール時のみ)
ディスプレイ 解像度		1024×768以上
インターフェイス		USBポート

ご注意

- ・重要な内容は必ずメモ帳やノートなどに控えておいてください。
- ・CD、プロテクトユニット等は、水分、高温、多湿、電気、磁石、静電気、ホコリ、汚れ等から避けて大切に保管してください。また、極端な温度条件下での使用は避けてください。
- ・CDは折り曲げたり、ペンで書きこみをしたり、シールなどを貼ったりしないでください。特にデータ記録面は汚したり傷つけたりしないように大切にお取扱ください。故障の原因となり正常に機能しなくなる場合があります。
- ・プロテクトユニットを落としたり、強い衝撃をあてないでください。破損する恐れがあります。
- ・プロテクトユニットを分解しないでください。
- ・他のプロテクトユニットと一緒に使用しないでください。誤動作の原因となる場合があります。
- ・プロテクトユニットの接合部を汚したり、先のとがったもので刺したり、ピンを折ったりしないでください。故障の原因となり正常に機能しなくなる場合があります。
- ・ご利用のプロテクトユニットが USB フラッシュメモリタイプの場合、絶対にフォーマットを行わないでください。「システム保護情報」が認識出来なくなります。
- ・お客様がこの製品および付属品(プロテクトユニット等)の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品等の使用によって受けられた損害ついて、当社は一切その責任を負いません。

**プロテクトユニットは絶対に紛失しないでください。再発行致しません。
故障した場合には現品と有償実費で交換させていただきます。
故障品の投棄はしないでください。弊社で回収させていただきます。**

1.ログインアカウントの権限について

即利用くんのPC版Ver.2.5のインストール及び起動時は、管理者権限(Administrator)を持つアカウントでログオンしてください。

ご不明な場合は、お使いのコンピュータのシステム管理者及びネットワーク管理者に確認してください。

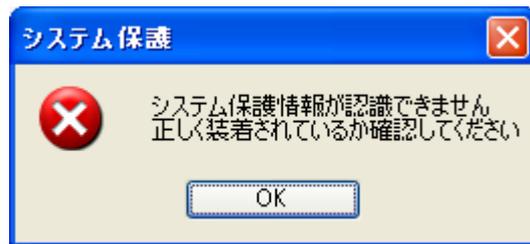
2.プロテクトユニットについて

即利用くんのPC版Ver.2.5は、ハードウェアプロテクト処理が施されています。

付属のプロテクトユニットが正しく装着されていないと、プログラムが起動できません。

プログラムを起動する前に下記の装着操作を行ってください。

装着されていない時に即利用くんのPC版Ver.2.5を起動しようとする下記のようにメッセージが表示され、プログラムが起動しません。



即利用くんのPC版Ver.2.5では下記3種類のプロテクタをサポートしています。



USB フラッシュメモリタイプ

Windows 標準ドライバを使用しますので、ユーザーが手動でドライバのインストールを行う必要はありません。

USB タイプ

Ver2で使用していたプロテクトユニットもそのまま使用できます。

パラレルタイプ

Ver2で使用していたプロテクトユニットもそのまま使用できます。

2-1.USB フラッシュメモリタイプ

装着のしかた

パソコン本体の USB ポートに付属のプロテクトユニットを差し込んでください。

自動で Windows がドライバをインストールし、使用可能となります。

USB ポートが不足している場合は、市販の USB ハブを増設して下さい。

128MBの容量を持っていますので、データの移動やバックアップにご利用できます。

但し、このフラッシュメモリに対しフォーマットを行わないで下さい。

「システム保護情報」が認識出来なくなります。

2-2.USBタイプ

Windows2000、XP、VISTA の 32Bit バージョンのみに対応しています。

ドライバのインストール

1. Windows を起動し、管理者権限のあるユーザーでログインします。
2. USB タイプのプロテクトユニットを USB ポートに装着します。
3. 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始されますので、「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択して次に進みます。
4. 「検索とインストールのオプション」では、「次の場所で最適なドライブを検索する」と「リムーバブルメディア」を選択して次に進みます。
5. ドライバがインストールされ、ウィザードが完了します。

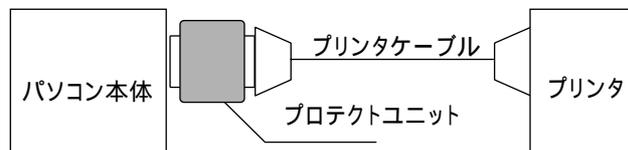
2-3.パラレル(D-Sub25ピン)タイプ

Windows2000、XP の 32Bit バージョンのみに対応しています。

装着のしかた

パソコン本体のプリンタポートに付属のプロテクトユニットを差し込んでください。

すでにプリンタケーブルが接続されている場合は、いったんパソコン側のコネクタをはずし、プロテクトユニットを差し込んだ後にプリンタケーブルを差し込んでください。



ドライバのインストール

1. Windows を起動し、管理者権限のあるユーザーでログインします。
2. スタートメニューから、「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルを開きます。
3. 「プリンタとその他のハードウェア」アイコンをクリックし、「関連項目」内の「ハードウェアの追加」をクリックします。
4. 「ハードウェアの追加ウィザード」が表示されますので、次に進みます。
5. 「ハードウェアは接続されていますか？」と表示されますので、「はい、ハードウェアは接続されています」を選択して次に進みます。
6. 「インストールされているハードウェア」の一覧内にある「新しいハードウェアデバイスの追加」を選択して次に進みます。
7. 「コンピュータ上では新しいハードウェアは検出されませんでした。」と表示されますので次に進みます。
8. 「次の一覧からインストールするハードウェアの種類を選択して下さい」と表示されますので「全てのデバイスを表示」を選択して次に進みます。
9. 「ディスク使用」ボタンをクリックし、CD-ROM 内の Driver¥Parallel¥Win2k・Xp フォルダを指定します。
フォルダを選択後、インストール可能なドライバの種類 (JSP Alpha / JSP Card) が [モデル] リストに表示されるので、[JSP Alpha] を選択して次に進みます。
10. インストールの確認メッセージに回答し、インストールを完了します。
11. コンピュータを再起動します。



パラレルタイプのプロテクトユニットはWindows Vista には対応しておりません。
USB フラッシュメモリタイプまたは USB タイプのプロテクトユニットをご使用ください。

ワンポイント！ 計算データについて

角度データの入力には二通りの入力方法があります。

(例1) 123 ° 47 52 123.4752

(例2) 123 ° 47 52 123-47-52

座標データは、点名 / 半角10文字(全角5文字)以内

座標値 / - 999999.999 ~ 999999.999 の範囲

角度、座標、距離などの入力で秒やmm以下の値を入力した場合は自動的に四捨五入されます。

3.インストール手順

3-1.Ver.1からグレードアップの方へ

Ver.2.5へ移行したい座標データがある場合は、事前にVer.1の座標入力プログラムで [ファイル]-[書込み (SIMA)]を実行し、SIMA形式で座標データを保存してください。

後で、Ver.2.5の座標管理プログラムから読み込む事ができます。

Ver.1と同じフォルダ“測量_S”にVer.2をインストールすると正常に作動しない恐れがありますので、必ず“測量_S”以外のフォルダへインストールしてください。

3-2.Ver.2からグレードアップの方へ

Ver.2と同じフォルダにインストールするとデータはそのまま利用可能です。

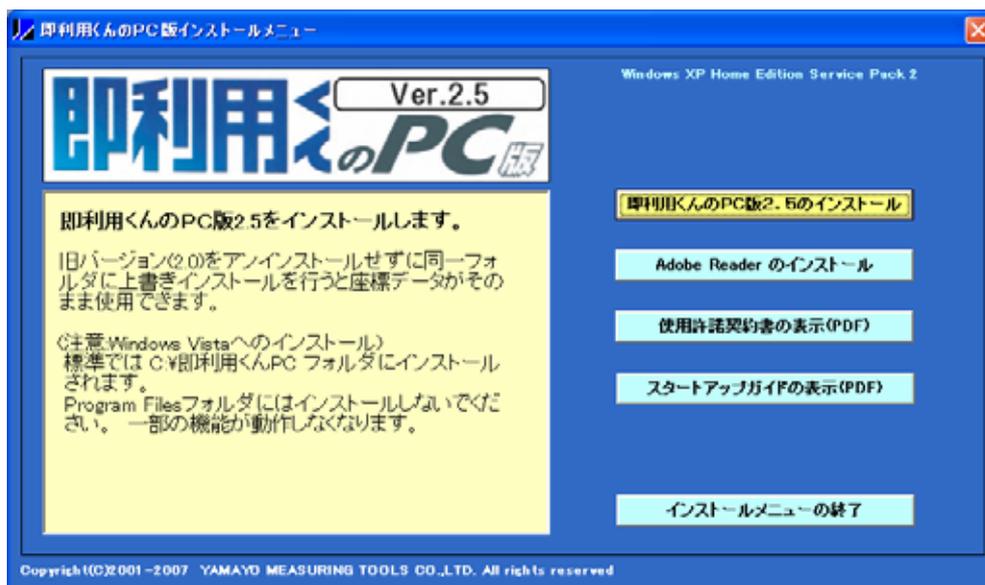
3-3.Windows Vista へのインストール

Vistaのユーザーアカウント制限(UAC)に未対応のため、インストール時に「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」と表示されますが、「許可」をクリックして下さい。インストールが進行します。

3-4.即利用くんのPC版Ver.2.5のインストール

即利用くんのPC版Ver.2.5のセットアップ用CDをCDドライブへセットします。

自動的にインストールメニューが起動します。自動起動しない場合はエクスプローラー等からセットアップCD内のランチャー.exeをダブルクリックしてインストールメニュープログラムを起動します。



使用許諾契約書が表示されます。
同意いただける場合は「同意する」をクリック。



インストール先のフォルダを確認して
問題が無ければ「次へ」をクリック。



「次へ」をクリック。

ファイルがコピーされます



下記のメッセージで終了です。



3-5. 即利用くんのPC版Ver.2.5のアンインストール(削除)

コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を開きます。

右図のようなダイアログが表示されたら、

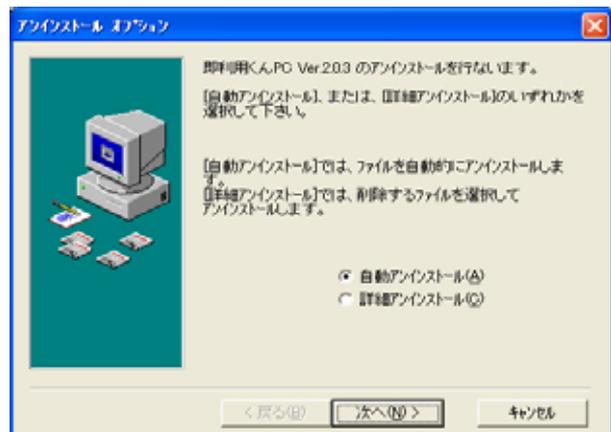
「即利用くんPC」を選択し
「変更と削除」ボタンを押すと、
削除プログラムが起動します。



「自動アンインストール」にチェックが入っていることを確認し、「次へ」を押すと次の画面に進みます。内容を確認し、「アンインストール」ボタンを押してください。

セットアップのときにインストールされた
ファイルだけ削除されます。

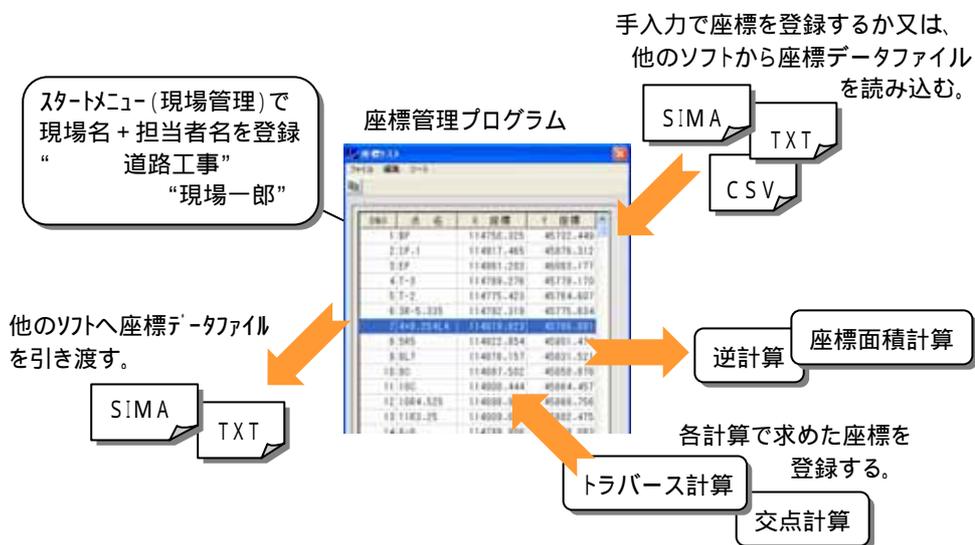
プログラムで作成されたデータがあると
そのフォルダは削除されません。



右のようなダイアログが表示される場合は？
 その他の共有ファイルを削除する場合については、他のアプリケーションソフトとの確認が必要です。もしわからない場合は、“すべて残す(N)”を選択してください。



4. 主なソフトの流れ



5. 基本操作説明

5-1. 即利用くんのPC版Ver.2.5の起動

即利用くんのPC版Ver.2.5はタスクバーのスタートメニューに登録されています。
タスクバーの<スタート>をクリックし、[プログラム]-[即利用くんPC Ver2.5]をポイントし
[即利用PC Ver.2.5]をクリックしてください。

5-2. メインメニュー(現場管理)

現場名で現場を区分し、各現場ごとに
3,000点まで座標登録・管理が行えます。



操作手順

現場名表示領域をクリックして適当な名前を入力してください。

注意！

現場名は全角15文字(半角30文字)以内

選択したい現場の番号をクリックするとプログラムが選択が可能になります。

「現場の削除」ボタン……現場データの削除。

選択された現場に関連する全ての登録データが削除されます。

「製品情報」ボタン……即利用くんのPC版 専用サポートホームページへの接続。

即利用くんのPC版に関する情報、Q & A、最新版のダウンロード等、お役立ち情報を見ることができます。 インターネットに接続されていないとご利用できません。

「バージョン情報」ボタン……ご使用中のソフトバージョン情報を表示。

本ソフトは品質向上及び改良の為、不定期にバージョンアップを行います。
専用サポートホームページ上でバージョン更新情報が確認できます。

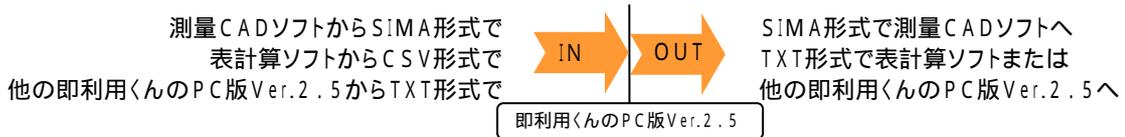
「終了」ボタン……全作業の終了。

5-3. 各プログラム計算

各プログラムの操作手順については、各プログラムで表示される「ヘルプ」 - 「入力案内」を参照してください。

6. 座標データファイルの受渡しについて

幅広く座標データを活用するために、SIMA、CSV、TXT(テキスト)フォーマットに対応しています。他のソフトや業者間での座標データ受渡しが簡単スムーズに行えます。



6-1. CSVファイルの読み込み例

座標管理プログラムでメニューの
[ファイル]-[開く]で[CSV]を選択します。



「ファイルを開く」ダイアログで、読み込む
ファイルを選択します。

データチェックウィンドウが表示されます。
(CSV、テキストファイル読み込み時のみ表示)



座標リストに追加する場合はOKを選択。

(注意)

- ・点名/半角10文字(全角5文字)以内
座標値 / -999999.999~999999.999の範囲
- ・座標リストの空き容量が足りない時は、メッセージが表示され読み込みを行いません。
(データ数が3,000点以上のファイルを読み込もうとした時も同様)
- ・1行に読み込む要素は、点名、X、Yの3要素配列。
- ・座標値列に数字以外の文字タイトルが含まれたCSVファイルは読み込めません。

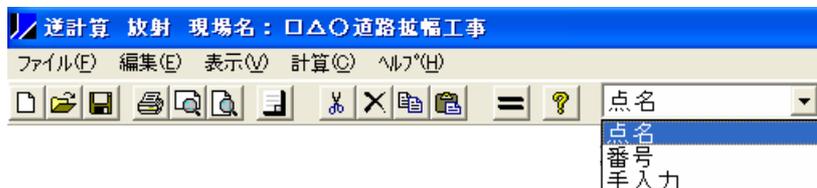
× 悪い例

点名	X座標	Y座標
T-1	123.350	456.789
T-2	122.237	432.457

良い例

T-1	123.350	456.789
T-2	122.237	432.457

7. アイコン・メニュー解説



計算データの新規作成
計算データファイルを開く
計算データファイルの上書き保存
計算書の印刷
計算書の印刷イメージ表示
確認図の印刷イメージ表示
登録座標リストの表示

入力座標データをクリップボードへ切り取り
計算データの削除
入力座標データをクリップボードへコピー
入力座標データをクリップボードから貼り付け
計算実行・結果表示
操作手順ガイドの表示
座標データ入力方法

7-1. ファイル

ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	計算(C)
新規作成(N)...			Ctrl+N
開く(O)...			Ctrl+O
上書き保存(S)			Ctrl+S
名前をつけて保存(A)...			
計算結果(座標)の登録(W)...			Ctrl+W
印刷プレビュー(V)...			
印刷(P)...			Ctrl+P
終了(X)			

- 計算データの新規作成
- 計算データファイルを開く
- 計算データファイルの上書き保存
- 計算データに名前を付けて保存
- 計算で求めた座標を座標リストに登録する
- 計算書の印刷イメージ表示
- 計算書の印刷
- 計算の終了

7-2. 編集

編集(E)	表示(V)	計算(C)
切り取り(T)		Ctrl+X
コピー(C)		Ctrl+C
貼り付け(P)...		Ctrl+V
行挿入(R)		Ctrl+R
行削除(D)...		Ctrl+D

- 入力座標データをクリップボードへ切り取り
- 入力座標データをクリップボードへコピー
- 入力座標データをクリップボードから貼付け
- 計算データ入力行の挿入
- 計算データ入力行の削除

7-3. 表示

表示(V)	計算(C)	ヘルプ(H)
座標リスト(L)...		Ctrl+L
図形描画(W)...		

- 登録座標リストの表示
- 確認図の印刷イメージ表示

7-4. 計算

計算(C)	ヘルプ(H)
実行(R)	

- 計算実行・結果表示

7-5. ヘルプ

ヘルプ(H)
入力案内(A)...

- 操作手順ガイドの表示

8. 座標データの入力方法について

座標データの入力方法は次の5つの方法があります。

- 登録座標リストから
 - マウス操作で1点ずつ入力
 - マウス操作で範囲指定一括入力
 - 点名指定入力
 - 登録番号(DNO)指定入力

点名
点名
番号
手入力

登録されていないデータを、その場で 手入力

座標リストからマウス操作で1点ずつ入力する場合

選択されている入力方法に応じてデータ入力個所をマウスでクリックしてください。

座標データ入力個所の点名("番号")が選択されている場合はDNO)部をクリックする。

座標リストの中から、入力するデータをマウスでダブルクリックする。

マウス操作で範囲指定一括入力する場合

No.	DNO	点名	X座標	Y座標
1	BP	114750-275	45732.446	
2	1P-1	114817-465	45816.312	
3	2P	114891-203	46002.177	
4	3-0	114769-276	45719.176	
5	5-2	114775-423	45764.607	
6	6-3R-5.335	114792-319	45719.634	
7	7-4+0.254L4	114819-823	45766.991	
8	8-5S5	114822-854	45801.474	
9	9-8L7	114876-157	45831.521	
10	10-9C	114897-502	45950.878	
11	11-10C	114900-444	45984.457	
12	12-11R4.525	114938-305	45969.755	
13	13-11R3.25	114909-057	45982.475	
14	14-8-8	114799-006	45779.083	
15	15-7-8	114809-442	45783.333	

座標リスト上で、指定範囲の先頭から末尾までマウスの左ボタンを押し続け、指定範囲を反転表示させる。
座標リスト上のコピーアイコンをクリックする。
貼付け先頭個所のNo.部分をクリックし反転表示させる。
貼付けアイコンをクリックし、貼付け実行“はいいいえ”を選択。

No.	DNO	点名	X座標	Y座標	方向
1	4-1-3	114789-276	45779.170		
2	5-1-2	114775-423	45764.607		
3	6-3R-5.335	114792-319	45775.634		
4					
5	7-4+0.254L4	114819-823	45766.991		
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

9. 計算書について

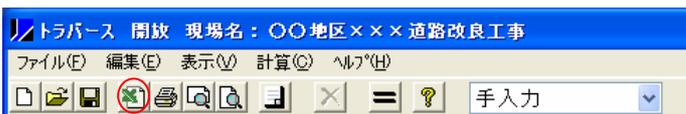
求められた計算結果を計算書として、A4の用紙サイズで出力できます。又、プレビュー機能により印刷状態を事前にチェックできるので、無駄なく正確な提出書類が作成できます。

計算書と確認図の出力用紙サイズ(A4固定)は変更できません。



10. Excel 出力について

各プログラムの出力結果を Excel のファイルとして出力することができます。



Excel アイコンをクリックして下さい。

作成された Excel ファイルは各現場フォルダ下の TMP フォルダに格納されます。再度 Excel 出力を行うとこのファイルは上書きされてしまいますので、保存の必要がある場合は Excel のメニューから次の操作を行って下さい
ファイル 名前を付けて保存

10. 確認図(図形描画)について

開放トラバース計算	
放射トラバース計算	+
逆計算 単独	+
逆計算 連続	+
逆計算 放射	+
交点計算 直線 - 直線	
交点計算 直線 - 円	
交点計算 円 - 円	
座標面積計算	
ヘロン面積計算 辺長	×
ヘロン面積計算 座標	+
座標プロット	+
2辺夾角の計算	×
2角夾辺の計算	×
3辺の計算	×
単曲線要素計算	×
単曲線座標計算	
基本凸型クロソイド要素計算	×
基本凸型クロソイド座標計算	
クロソイド平行曲線長	×
クロソイド拡幅曲線長	×
クロソイド - 直線 交点計算	
クロソイド - 円 交点計算	
中心杭・幅杭設置 直線	
中心杭・幅杭設置 円	
中心杭・幅杭設置 クロソイド	
垂線計算 直線	
垂線計算 円	
垂線計算 クロソイド	
路線座標 中心・幅杭設置	
縦断曲線 計画高の計算	×
放射法 面積計算	
ヘルマート変換	
2点変換	

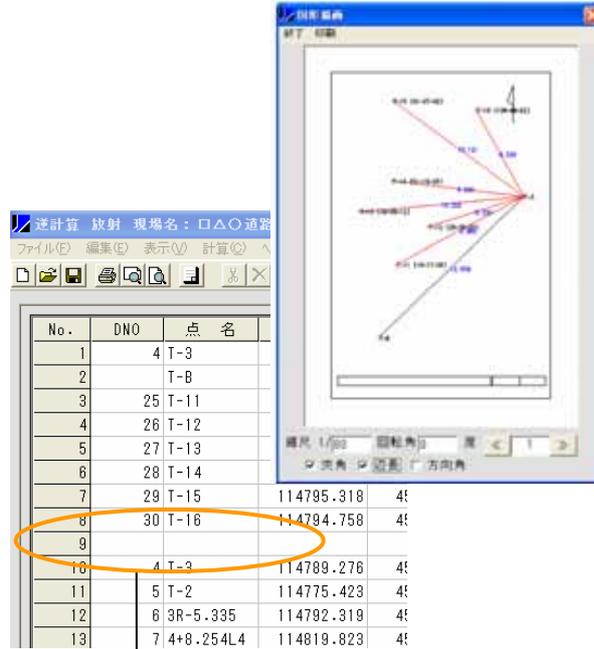
 結線あり 一部結線 結線なし
 × 図形描画なし + 複数計算可

下記のように入力変更すると確認図がページ分割されます。

放射トラバース計算・・・既知点・後視点の変更

逆計算、座標プロット・・・空白行の挿入

ヘロン面積計算 座標・・・地番の変更



逆計算は、空白行挿入で複数の確認図が出力されます。